

## みかん防除・施肥体系

月	時期	主な対象病害虫	散布薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数	主な防除と作業事項
3							【防寒被覆の除去】南面から結束をゆるめていき、最後に完全に除去して樹を誘引する。
							【せん定】樹の内部まで日光が当たるようにするとともに、枯枝、病害虫被害枝は必ず除去する。 【防除】12月にハーベストオイルを散布できなかった園では、ハーベストオイル80倍を3月に散布する。
4	下旬 (発芽期)	そうか病	デランフロアブル	1,000 倍	30日前まで	3回以内	【苗木の植付け】根を十分広げて植付け、乾燥防止のためかん水を十分に行う。 【接木】
5	下旬 (満開期)	そうか病、黒点病、 ミカンハダニ、ミカンサビダニ	フロンサイドSC	2,000 倍	30日前まで	1回	【除草】
		アブラムシ類、ミカンハモグリガ、 ヤノネカイガラムシ	スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍	前日まで	3回以内	
6	上旬	そうか病、黒点病	ジマンダイセン水和剤	400 倍	30日前まで	4回以内	【除草】
	下旬	そうか病、黒点病 カイガラムシ類	ジマンダイセン水和剤 アプロードフロアブル	400 倍 1,000 倍	30日前まで 14日前まで	4回以内 3回以内	
	—	カミキリムシ類	トラサイドA乳剤	200 倍	産卵最盛期～ 幼虫食入初期 但し収穫14日 前まで	1回	
7	中旬	そうか病、黒点病	デランフロアブル	1,000 倍	30日前まで	3回以内	【摘果】病害虫被害果、傷果、小玉果を中心に摘果する。摘果の目安は20～25葉に1果とする。(7～9月)
		ミカンハダニ	ダニカット乳剤20	1,000 倍	14日前まで	1回	
8	下旬	そうか病、黒点病	ジマンダイセン水和剤	400 倍	30日前まで	4回以内	【除草】
		カイガラムシ類	アプロードフロアブル	1,000 倍	14日前まで	3回以内	
9	中旬	褐色腐敗病	ストロビードライフフロアブル	2,000 倍	14日前まで	3回以内	【除草】
		ミカンハダニ	ダニエモンフロアブル	4,000 倍	7日前まで	1回	
10	中下旬	貯蔵病害	ベンレート水和剤	4,000 倍	前日まで	4回以内	
12		ミカンハダニ、ヤノネカイガラムシ	ハーベストオイル(トモノール)	80 倍	冬期 (12月～3月)	—	

※ 散布にあたっては、農薬のドリフト(園外への飛散)の無いよう、十分留意して散布して下さい。

## ●肥料の施用について

施用時期	4月上旬	7月中旬	11月
肥料名	果樹専用1号	果樹専用1号	①果樹専用1号 ②たい肥
施肥量 (10a当たり)	60kg	30kg	①30kg ②1t

※施肥については、極力土壌内部に施肥する。

## ●石灰資材の施用について

施用時期	8月下旬 ～9月上旬
資材名	過磷酸石灰
施用量 (10a当たり)	60kg

## ●農薬希釈表(農薬希釈量g、cc)

水量 倍率	10 リットル	20 リットル	50 リットル	100 リットル	300 リットル	500 リットル
80 倍	125	250	625	1,250	3,750	6,250
100 倍	100	200	500	1,000	3,000	5,000
200 倍	50	100	250	500	1,500	2,500
400 倍	25	50	125	250	750	1,250
1,000 倍	10	20	50	100	300	500
1,500 倍	6	13	33	66	200	333
2,000 倍	5	10	25	50	150	250
4,000 倍	2	5	12	25	75	125

## ●除草剤の使用について

除草剤名	使用時期	使用回数
バスタ液剤	収穫21日前まで	3回以内
ラウンドアップ マックスロード	収穫7日前まで	5回以内

※圃場の雑草処理については、土壌への有機物の還元を目的に、草刈を基本とする。

## ■注意

当防除体系は、2025年3月現在の農薬登録内容に基づいて作成しています。  
農薬の使用にあたっては、ラベルを熟読の上、そこに記載されている使用基準を守って適正に使用しましょう。